

ろくなかったからです。いくらクロールの練習をしても、五メートルぐらいしか泳げませんでした。

二年生の夏も、毎日のようにやる水泳が、とてもいやでした。でも、十五メートル泳げるようになりました。泳ぐたびに少しずつきよりのびていくので、だんだん好きになってきました。

三年生で、とうとう百メートル泳げるようになりました。いままでのクロールを、平泳ぎに変えて練習していくうちに、百メートルも泳げるようになったのです。

そして、四年生になると、きよりではなくタイムにちよう戦するようになりました。水泳がますます好きになり、平泳ぎで五十五秒の最高のタイムが出せました。この時、五年生になったら、ぜったいに水泳練習に参加しようと思いました。

そして、五年生になって水泳の練習を始めたのです。その時から変化が見られるようになりました。

まず第一に、平泳ぎを中心に練習したので泳ぎ方がうまくなり、五年生で一番速くなりました。そればかりか、六年生にも追いつけるようになりました。

第二には、平泳ぎだけではなく、クロールでも速く泳げるようになりました。自由時間などの時、上手な人の泳ぎ方を見てまねているうちに、できるようなになったのです。

第三には、全く泳げなかったバタフライも練習しているうちに、五十メートル泳げるようになり、タイムもあがりました。

このように、水泳練習に参加してから

は、いろいろな泳ぎができるようになりました。

こうして続けてきた水泳練習のおかげで、八月二日に行われた水泳教室でも、平泳ぎでよい成績を残すことができました。そればかりか、いっしょに練習してきた友だちとも、なかよくなりました。練習に参加して、本当によかったと思います。また来年も、今年以上によい成績が残せるようにがんばります。



5年 畔蒜由香子

季節

季節は四種類

春・夏・秋・冬の四種類

春は

さくらや菜の花の

花ざかり

夏は

プールや海に入って

いい気もち

秋は

葉が赤や黄色にそまって

とてもきれい

冬は

雪がふって寒いけど

雪合戦や雪だるまで

あそんでとても楽しい

わたしは秋が大好き

それは葉がそまってロマンチックだから...



5年 伊藤美代子

幸せ

幸せは、どこから来るのだろうか。天から来るのか、地から来るのか。私には、わからない。

幸せは、人間が味わうもの。家族がそろって、ごはんを食べる。私は、そんな時が幸せ。

でも、幸せはいつまでも続かない。家族がばらばらになっても、いつか新しい幸せがやって来る。生きる間は、必ずやって来る。

シリーズ ⑳

我が家の家庭教育

辻 松村 信枝

私の家には、中学校一年と小学校五年の二人の女の子がおりますが「我が家の家庭教育は」と問われても、これと言って何もしていません。ただ、ごく平凡な家庭です。

私どもは共稼ぎなので、子供達はいわゆるカギツ子で、私もより先に家に帰って来ており、お腹がすいた時は、自分で台所に立ち、何やら作って食べていま

す。お腹がいっぱいでも、私が帰ると、「お帰りなさい。今日のおかずは」と、必ず聞いてきます。留守番の責任が終ってホッとするのか、学校での出来事、それに対する自分の考えなど、ことこまかに私に話しかけて来るのです。夕飯の仕たくをしながら話を聞き、時には意見を述べたりします。

小五の娘は体操クラブで、毎日練習をしているのですが、側転が出来なくてショゲている時には、台所での夕飯の仕たくをやめ、ともに庭先へ出て、側転の練習を見てやったこともありました。もちろん、私りのアドバイスをしてやり、何とか出来るようになった時には、二人で大喜びしたこともありました。

夕飯は四人揃って食べるようにしていますが、主人は晩酌をしながら、子供達の話の聞いたり、自分の昔話を聞かせたりしています。そんな我が家なのです。

このように、特別には何も教育をしていない平凡な我が家ですが、「子供達にとって家庭とは」と、改めて考えてみました。

思うに、子供は背中に「電池」を背おい、通学・学校生活で、めーばいの力を出し、くたくたになって家に帰ります。そして家庭は安らぎの場、明日に向かっての充電の場でもあると思います。

又、人間はだれしも、必ず一つは良いものを持って生れて来るそうです。親として、自分の子供をよく見つめて、すぐれている所を認め、ほめてあげ、前進させる事が大切だと思っています。